

15章 左官工事

6節 仕上塗材仕上げ

15. 6. 1 一般事項

この節は、建築用仕上塗材を用いる内外装の仕上工事に適用する。

15. 6. 5 下地調整

(1) コンクリート面の下地調整は、次による。

- (ア) 目違いは、サンダー掛け等により取り除く。
- (イ) 下地面の清掃を行う。
- (ウ) 下地調整塗材C-2を、1～2mm 程度全面に塗り付けて、平滑にする。ただし、スラブ下等の見上げ面、厚付け仕上塗材仕上げ等の場合は、省略する。
- (エ) 下地の不陸調整厚さが1mm以下の場合は、(ウ)の下地調整塗材C-2に代えて、下地調整塗材C-1を平滑に塗り付けることができる。
- (オ) 下地の不陸調整厚さが3mmを超えて10mm以下の場合は、(ウ)の下地調整塗材 C-2に代えて、下地調整塗材CM-2を平滑に塗り付ける。

(2) モルタル、せっこうプaster及びプレキャストコンクリート面の下地調整は、次による。

- (ア) 下地面の清掃を行う。
- (イ) 合成樹脂エマルジョンシーラーを全面に塗り付ける。
ただし、仕上塗材の下塗材で代用する場合は、省略することができる。

(3) せっこうボード面及びその他ボード面の下地調整は、次による。

- (ア) 表18.2.7[せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ]のB種とする。
- (イ) 合成樹脂エマルジョンシーラーを全面に塗り付ける。

(4) ALCパネル面の下地調整は、次による。

- (ア) 下地面の清掃を行う。
- (イ) 合成樹脂エマルジョンシーラーを全面に塗り付ける。
ただし、下地調整塗材Eで代用する場合は、省略することができる。
- (ウ) 屋外は、仕上塗材の製造所の仕様により下地調整塗材 C-1 又は下地調整塗材Eを全面に塗り付けて、平滑にする。
ただし、外装薄塗材S仕上げの場合は、下地調整塗材 C-2を全面に塗り付けて、平滑にする。

(5) 押出成形セメント板面の下地調整は、次による。

- (ア) 下地面の清掃を行う。
- (イ) 日本建築学会材料規格 JASS 18 M-201[反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応硬化形合成樹脂シーラー]に基づく塗料を全面に塗り付ける。
なお、仕上塗材の製造所の仕様により、下塗材をJASS 18 M-201に基づく塗料で代用することができる。